



目次

- 要旨
- 機能と特徴
- 実装品質
- 知覚品質
- ADAS
- インフォテインメント
- ナビ
- 音声認識
- コネクテッド機能
- 利便性

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテインメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。(モデルによっては全ての評価項目を備えているわけではない。)

2021年度の評価対象車種/システム：
Mercedes Benz S Class、Cupra Formentor、Tesla Model S、Hyundai Ioniq 5、Lexus LS、Rivian R1、BMW i4/iX、Lucid Air (※ 対象車種は状況により変更となる場合がある)

レポート番号: 635(21b)

In-Car HMI UX
Evaluations

CUPRA Formentor

UX ベンチマーク評価

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

今回SBD AutomotiveではCUPRA Formentorのユーザーエクスペリエンス（UX）評価を実施しました。SEAT子会社であるCUPRAの新型SUVは、インフォテインメントシステムのUXを合理化することを目的としたテクノロジーをキャビン内に複数備えています。12.0インチのセンターディスプレイタッチスクリーンに加え、カスタマイズ可能なデジタルコックピットを搭載しており、ユーザーは10.3インチのメーターパネルの表示をパーソナライズすることが可能です。また、ワイヤレスのApple CarPlayおよびAndroid Autoは、統合されたApple MusicおよびTidalアプリと共に提供されます。音声認識はVWのネイティブソリューションによって提供されており、Alexaアプリのインストールも可能です。

ただし実装面においては、システム全体の安定性だけでなく、HVACやナビコネクティビティ、音声認識などの領域に影響を与え得る課題が散見されました。全体的に同ソリューションは期待を大幅に下回る評価となり、車両オーナーに深刻な不満を抱かせかねません。

対象市場

欧州 北米 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 四半期更新 年間8車種

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

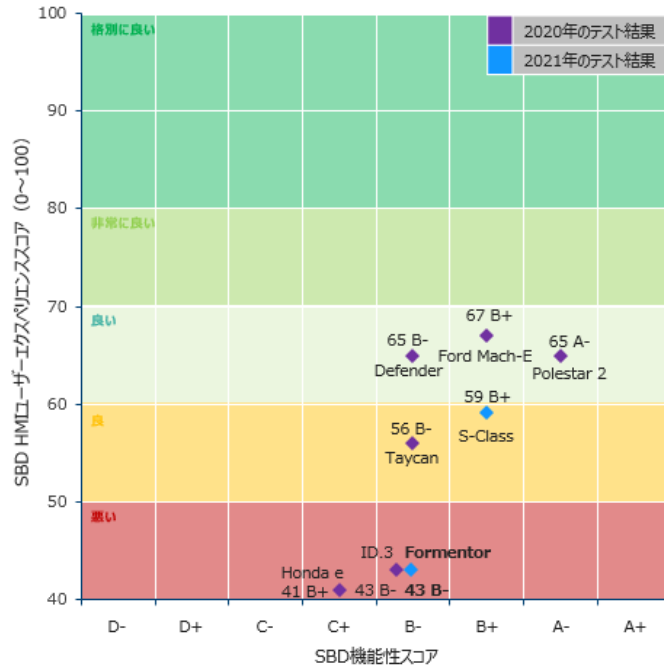
ページ数

160+

お問合せ



簡素な機能に限られ「Wowファクター」は少なく、安定性に大きな課題



SBDが実施した評価では、CUPRA Formentorのインフォテインメントシステムには、極めて重要度の高いユーザビリティ面の課題が多く見られた。

全体として、機能面ではユーザーが求める基礎的な基準を満たしている点が多い一方で、システムの安定性と性能の問題および魅力的機能が欠如していることにより、このソリューションの全体的なユーザーエクスペリエンスに深刻な影響を与えていると考えられる。

本書では、FormentorのADAS、インフォテインメント、ナビ、音声認識、コネクテッド機能のプラス面、マイナス面を詳細に分析する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



CUPRA Formentor
UX ベンチマーク評価

発行年月：2021年9月
レポート番号：CON635-21(21b)

本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「CUPRA Formentor: UX ベンチマーク評価」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

